

「2019～2020 シーズン 新潟県における RSV 感染症の流行状況」

に関する研究の臨床データの研究利用に関するお願い

研究の概要・背景

新潟県内における RSV 流行状況を入院加療例から推測する目的で、県内の周産期センターを有する二次医療機関の入院例について後方視的に診療録を調査する。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

調査して得られたデータは、研究責任者である新潟市民病院新生児内科 永山善久が解析する。

対象者・期間

2019 年 6 月から 2020 年 3 月まで当院に入院した RSV 感染症患児

入院時月齢、入院月日、入院日数、基礎疾患、治療内容（呼吸支持療法）、パリミズマブの適応の有無、パリミズマブの使用の有無

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師： 小林 玲

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)